

項目	①10の分類ごとに、どちらの場所の ほうがよいと思えますか				
	明らかに 病院側	どちらか といえは 病院側	どちら でもよい	どちらか といえは 駅前	明らかに 駅前
都市計画的視点	①活性化 4	6	12	16	27
	②文化・歴史 11	16	30	5	3
	③他施設との連携 7	14	26	13	5
	④周辺環境 8	11	15	21	10
	⑤アクセス 3	1	9	10	42
建築計画的視点	⑥安全 3	3	15	25	19
	⑦防災 2	5	28	19	11
	⑧土地 15	16	10	11	13
	⑨駐車場 19	24	14	4	4
	⑩費用(※) 14	7	27	12	4

※無回答が1人

項目	②10の分類で重要と思うものに 5位まで順番をつけてください				
	1位	2位	3位	4位	5位
⑤アクセス	19	27	4	3	3
①活性化	18	6	10	9	8
⑥安全	7	11	10	9	5
④周辺環境	6	5	9	8	12
⑨駐車場	3	4	12	6	9
⑩費用	7	2	3	4	7
③他施設との連携	3	10	6	19	
⑧土地	2	3	5	5	4
②文化・歴史	2	5	3	4	3
⑦防災	4	4	5	13	

※5位まで記入されなかった回答もあります

新花巻図書館の建設候補地に関する 市民会議の結果を踏まえた 市の考えをお知らせします

市では、建設候補地を選定するための判断材料とすることを目的に、市民間の対話による市民会議を開催しました。
市は市民会議の結果を踏まえて、JR花巻駅前を建設候補地として選定しました。

市民会議とは

市民間の対話を通じて意見を 可視化・整理

新花巻図書館の建設候補地について、比較調査結果(※)などを見ながら、市民の皆さんが考えていることを対話を通じて共有し、それらの意見を可視化・整理することで、市が建設候補地を選定するための判断材料とすることを目的として開催した「市民会議」。参加者は、無作為に抽出した15歳以上の市民3500人に案内を送付し、そのうち参加を申し込んだ75人です。

会議では、慶応義塾大学大学院の山口覚特任教授をメインファシリテーター(話の促進役)に迎え、



に5位まで順番をつけてください」との質問では、重要と思う分類について1位から5位までの人数の合計を集計したところ、重要視された分類の上位五つは、「⑤アクセス」56人、「①活性化」51人、「⑥安全」42人、「④周辺環境」40人、「⑨駐車場」34人となりました。
この結果から、重要視された5分類のうち「①活性化」「⑤アクセス」については「明らかに駅前がよ

い」、「④周辺環境」「⑥安全」については「どちらかといえは駅前がよい」、と4分類において駅前が評価され、総合花巻病院跡地については、「⑨駐車場」についてのみ「どちらかといえは病院側がよい」と評価されたことが分かりました。
なお、重要視された5分類について、その分類が重要と考えた理由をA Iを活用してまとめた結果は次のとおりです。

世代別に参加者を11グループに分けて、対話による意見交換などを行いました。第4回の会議の最後には、参加者個人の考えをヒアリングシートに記入して提出いただきました。



※建設候補地の「総合花巻病院跡地」と「JR花巻駅前」を比較検討するために、整備事業費の調査や建設イメージ図を専門業者に委託して作成した報告書(詳しくは、広報はなまき11月15日号に掲載)

市民会議の概要

期日	内容	参加者
第1回 11月17日(日)	比較調査結果などについて参加者へ説明したのち、候補地ごとのメリットとデメリットを全員で対話しながらまとめました	65人
第2回 12月21日(土)	第1回でまとめたメリットとデメリットに不足がないか確認、修正をしました。また、希望者で建設候補地周辺を歩いて確認しました	64人
第3回 1月26日(日)	候補地ごとのデメリットに対する解決策を考え、これまでの対話を踏まえて参加者自身がどう思うか話し合いました	57人
第4回 2月15日(土)	第3回までの対話を経て、参加者自身の思いなどを話し合い、最後に自分の考えを用紙に書いていただきました	53人

※4回全てに参加したのは42人、3回参加したのは19人、2回参加したのは6人、1回参加したのは2人

市民会議の結果を 踏まえて

市は花巻駅前を建設候補地として選定

市では、このような市民会議での意見を踏まえ、多くの市民に利用され、花巻市全体の活性化にも寄与することが期待される「JR花巻駅前」を建設候補地として選定し、新花巻図書館整備基本計画を策定したいと考えています。

ヒアリングシートで 参加者の考えを確認

二つの建設候補地について 10の分類ごとに考察

ヒアリングシートには、参加者の皆さんの意見を分類した「10の分類」で、どちらの建設候補地がよいか、整備に当たってはどの分類が重要かを記入いただきました。なお、ヒアリングシートは第4回会議参加者53人を対象としていますが、やむを得ず第4回会議に欠席した人でそれまでの会議に2回以上出席した人にも郵送での回答をお願いし、そのうち12人から回答をいただいています。

「①10の分類ごとに、どちらの場所のほうがよいと思えますか」との質問では、「①活性化」「⑤アクセス」については「明らかに駅前がよい」、「④周辺環境」「⑥安全」については「どちらかといえは駅前がよい」とする人が最も多く、「⑧土地」「⑨駐車場」については「どちらかといえは病院側がよい」とする人が最も多くなりました。

市民に親しまれる図書館を目指して

市では、JR花巻駅前を建設候補地として選択して基本計画を策定したいと考えていますが、市民会議で出された病院跡地がよいとする意見の中で「駐車場が使いやすい」「静かな環境である」などの意見もあつたことから、それらの意見を踏まえて新花巻図書館を整備できるよう検討します。

また、JR花巻駅前に新花巻図書館を整備するに当たり、整備内容について引き続き市民の声を聞く機会を設けるなど、市民の意見を反映させながら進めていきます。
今回の市民会議を含め、これまでの市民の意見などを参考にして市が取りまとめる新花巻図書館整備基本計画について、3月下旬からのパブリックコメント、4月中旬の市民説明会などを経て、基本計画を最終決定していきたいと考えています。



市民会議について詳しくは、市ホームページをご覧ください。

